

令和 年 月 日

国土交通大臣 殿

住 所 東京都千代田区霞が関 2-1-3  
名 称 ○○協議会  
代表者氏名 国土 太郎

令和 年度モーダルシフト等推進事業費補助金  
輸送状況報告書  
【モーダルシフト推進事業】

## 1. 協議会の名称及び代表者

名 称	○○協議会
代表者の氏名 とその所属先	国土 太郎 株式会社○○代表取締役社長

## 2. 交付した補助額(全体)

補助対象期間	補助金額
〔補助対象期間〕 令和 年 月～令和 年 月 ( ヶ月)	総額 6,000,000 円 交付要綱別表 2 補助対象経費①3,000,000 円 交付要綱別表 2 補助対象経費②3,000,000 円

## 3. 問い合わせ先(窓口)

社 名	株式会社○○
住 所	東京都千代田区霞が関 2-1-3
担 当 部 署	○○部○○課
担 当 者 名	国土 二郎
連 絡 先	T E L : 00-1234-5678 E-Mail : ~~~@~.co.jp

#### 4. 事業の実施状況

〔輸送の状況〕

報告対象期間における輸送状況について記載して下さい。

〔課題・改善点等〕

事業の実施後明らかになった課題や改善点等を記載して下さい。また、モーダルシフトによる輸送が当初の計画（変更した場合は変更後の内容）どおり実施されていない場合や輸送の継続が困難である場合は、その原因についても記載して下さい。

〔今後の取組みについて〕

今後の展望や取組み内容について記載して下さい。また、モーダルシフトによる輸送が当初の計画（変更した場合は変更後の内容）どおり実施されていない場合や輸送の継続が困難である場合は、その改善策についても記載して下さい。

〔その他特記事項〕

## 5. 実施内容《総括表》

※経路が1つのみの場合には総括表の記載は不要です。  
次ページの表のみ記載で問題ありません。

類型		1. トラック輸送から鉄道又は海上輸送への転換 2. 新規に鉄道又は海上輸送する貨物
輸送期間		(輸送期間) 令和 年 月～
		(補助対象期間) 令和 年 月～令和 年 月 ( ヶ月)
		(報告対象期間) 令和 年 月～令和 年 月 ( ヶ月)
輸送経路	転換前 (仮想)	
	転換後	
輸送品目		
輸送内容	事業計画	
	輸送実績	<div style="border: 1px solid red; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>※複数経路で申請する場合には、総括表にそれぞれの経路の合計の貨物量、CO<sub>2</sub>排出量、省力化効果及び実施額の合算を計算過程含め記載の上、次ページ以降経路ごとの貨物量、CO<sub>2</sub>排出量、省力化効果の詳細を記載してください。</p> </div>

## 5. 実施内容

輸送経路（ ）

※経路が複数ある場合は、A、B…、1、2…など  
経路毎に表を作成して下さい。

類型	1. トラック輸送から鉄道又は海上輸送への転換 2. 新規に鉄道又は海上輸送する貨物	
輸送期間	(輸送期間) 令和 年 月 日～	
	(補助対象期間) 令和 年 月 日～令和 年 月 日 ( ヶ月)	
	(報告対象期間) 令和 年 月 日～令和 年 月 日 ( ヶ月)	
輸送経路	転換前 (仮想)	A 社工場 (●市●町)→○IC→(○○道)→▲IC→B 社倉庫 (△市△町) A→○IC 【20km】、○IC→▲IC 【450km】、▲IC→B 【30km】
	転換後	A 社工場 (●市●町)→○貨物駅→▲貨物駅→B 社倉庫 (△市△町) A→○貨物駅 【40km】、○駅→▲駅 【550km】、▲駅→B 【40km】
輸送品目		食品、雑貨等
輸送内容	事業計画	・貨物量：10,000t ・CO <sub>2</sub> 排出量〈転換前〉1,125.00t-CO <sub>2</sub> 〈転換後〉279.00 t-CO <sub>2</sub> 〈削減量〉846.00 t-CO <sub>2</sub> ・省力化効果 (トラックドライバー総走行時間) 〈転換前〉2,500 時間 〈転換後〉200 時間 〈削減量〉2,300 時間 (92.0%)
	輸送実績	・貨物量：20,000 t ・CO <sub>2</sub> 排出量 〈転換前〉 $20,000\text{t} \times 500\text{km} \times 225\text{g-CO}_2/\text{t} \cdot \text{km} \times 10^{-6} = 2,250.00\text{t-CO}_2$ 〈転換後〉 $20,000\text{t} \times 80\text{km} \times 225\text{g-CO}_2/\text{t} \cdot \text{km} \times 10^{-6} = 360.00 \text{ t-CO}_2$ $20,000\text{t} \times 550\text{km} \times 18\text{g-CO}_2/\text{t} \cdot \text{km} \times 10^{-6} = 198.00 \text{ t-CO}_2$ 〈削減量〉1,692.00 t-CO <sub>2</sub> ・省力化効果 (トラックドライバー総走行時間) 〈転換前〉平均運転時間 10 時間×運行回数 200 回=2,000 時間 〈転換後〉平均運転時間 2 時間×運行回数 90 回=180 時間 〈削減量〉省力化された時間：1,820 時間 省力化率：91.0%

事業計画の内容を記載して下さい。  
(変更した場合は変更後の内容)

報告対象期間における貨物量及びCO<sub>2</sub>排出量、  
省力化効果等の実績を記載して下さい。  
貨物量は実際の運搬量を記載し、その根拠と  
なる資料は5年間保管して下さい。

## 6. 自動化・省人化機器に資する機器の利用状況

※利用計画が複数ある場合は、  
計画毎に作成して下さい。

### 〔利用状況〕

報告対象期間における計画策定の状況について記載して下さい。  
また、何人分の省人化になったかを記載して下さい。

### 〔課題・改善点等〕

事業の実施後明らかになった課題や改善点等を記載して下さい。また、自動化・省人化による輸送が当初の計画（変更した場合は変更後の内容）どおり実施されていない場合や輸送の継続が困難である場合は、その原因についても記載して下さい。

### 〔今後の取組みについて〕

今後の展望や取組み内容について記載して下さい。また、計画の策定が当初の計画（変更した場合は変更後の内容）どおり実施されていない場合や計画の策定が困難である場合は、その改善策についても記載して下さい。

### 〔その他特記事項〕